

復興への道のり ～令和2年7月豪雨から見える景色～



郷土の家庭料理 (有) ひまわり亭
(一社) 食・農・人総合研究所リュウキンカの郷
(一社) ムラたび九州
代表理事 **本田 節**

第1章

はじめに 豪雨災害までの活動

ひまわり亭

故郷・人吉 球磨というところ

- 人吉球磨(10市町村)
- 人口 8.8万人
- 農林業、観光業
熊本県の南西部に
位置し、三大急流・
球磨川が流れる盆地
- 日本遺産認定

人吉球磨の文化の礎を築いた
相良700年

民衆の手で守られた地域遺産
仏教美術

焼酎と遊びと民俗文化が息づく
暮らしと文化

人吉球磨地域



ふるさと自慢 ～人吉球磨～



↑国宝 青井阿蘇神社
日本三大急流 球磨川下り↓



↑国宝青井阿蘇神社 鳥居と禊橋



↑人吉温泉 人吉城址→



↑人吉城址 角櫓と長堀



↑SLひとよし復行



↑特産 球磨焼酎



日本の滝100選↑
鹿目の滝
4
←ラフティング

ところで、 ふるさとを抱える課題と現状

- 超高齢化、少子化、過疎化⇒人口減少
- 産業（農林業、工業、商業、観光）の低迷
- 地域産業の担い手不足
- 住民所得の低下→自治体の財政力低下
- “食”を取り巻く環境への危機感・不信感



課題解決の為に地域づくりからスタートした、 農村ビジネスの30年

1990年：地域のボランティアグループとして
「ひまわりグループ」がスタート

独居老人への宅配弁当、高齢者の見守り、
地域イベントへの参加など、地域の主婦による活動

「地域の食資源を生かし

地域のお役に立ちたい！」

・1998年：郷土の家庭料理(有)ひまわり亭を設立

スタッフ:50～70歳代の主婦を中心に雇用。

「待ってました、定年60歳新入社員」

「生涯現役」高齢者雇用型・子育て支援型

現在、年間約3万人来客および研修を実施



キーワードは「もったいない！」

- 地域の財産！「おじちゃん、おばちゃん
の知恵と経験と技と感性」がもったいない！
- 築120年の古民家がもったいない！
- 足下にある埋もれている地域資源がもった
いない！
- 地域の素晴らしい食材がもったいない！



ひまわり亭のこだわり(モットー)

- 地産地消
- 食を通じた地元の情報発信
- 地元の旬の食材を使った食文化の創造と伝承
- 安心で安全な食の提供
- グリーンツーリズムの推進
- 食育の推進



地域づくりから地域経営へ キーワード「食」業

- 「食」業……「食」をキラーコンテンツとしたあらゆるビジネス
農林水産物の生産、農産加工、直売所、農家レストラン、
農家民泊、ワーキングホリデー、など



ひまわり亭の取り組み①



レストラン業務（月替わり御膳）

ひまわり亭の取り組み②



弁当（ JR九州観光列車の弁当 ）
により観光との連携

ひまわり亭の取り組み③



講演 + 食事 + 調理実習の三部研修

ひまわり亭の取り組み④



郷土料理伝承塾を主宰

地域の食の担い手である女性達の研修と交流の場 14

ひまわり亭の取り組み⑤



食のおもてなしのネットワークづくり
郷土料理伝承塾毎月開催

ひまわり亭の取り組み⑥



農山漁村女性の力を集結したレシピの作成

私の地域づくりの師匠であり、
これまでの人生で最も大きな影響を受けた、
球磨郡湯前町下村婦人会市房漬加工組合
初代会長 山北 幸さん

女性起業家の草分け的存在であり、「まだ99歳！生涯現役」
のとても素晴らしい女性です。

平成25年2月に99歳で逝去されました。

下村婦人会は戦後に厳しい時期、女性の経済的自立を求め
て漬物づくりに取り組んだことに始まり、

昭和25年に発足した農村ビジネスの走りです。

私達ひまわりグループも多大な影響を受け
今日に至っています。

その精神を次世代にまた繋いでいきたいと
思っております。



山北 幸さんの生きる哲学

1. 意志(こころざし)あるところに道がある
2. 継続は力なり
3. 一つ一つ障害物は乗り越えよう
4. 時間(とき)はあるものではなく、つくるもの
5. 寝ていても何も転がってきた試しはない
6. 起業は人づくりから

もったいないをコンセプトに、
22年間 郷土の家庭料理ひまわり亭は、
食資源を活かした

『まちづくり

・ひとづくり

・元気づくり』

をテーマとして、地域活性化に向けて活動
してまいりました。

第2章

豪雨災害までの活動

新たな拠点として
食・農・人総合研究所
リュウキンカの郷

2017年7月、あさぎり町の古民家を再生し、
リュウキンカの郷をオープン！（民間の地域づくりの拠点）

食・農・人総合研究所リュウキンカの郷

目的

- ・「**食・農・人**」を学ぶ場（人材育成）
- ・地域づくりを推進するための情報発信拠点
- ・**新たな地域一体型**の**中間支援機能**（法人化）



これからの新しい食をコンテンツとした 古民家での学びの場づくり

- 学び直しによる農村ビジネスの確立
- 持続可能な実践のため、若手人材及
び地域コーディネーターと中間支援機
構の構築
- 泊・食・体験分離地域一体型経営
- 広域的な連携体制

拠点の必要性！

講座・研修会の開催（オーダーメイド型・命の食事研修/テーマ：食品加工の学び直し）

リュウキンカの郷での学び ①

1泊2日での研修実施
（波佐見町加工グループの皆さん）



農泊実践者のおもてなし勉強会

リュウキンカの郷での学び ②



受講者：地域住民、農家民宿
の実践者等へ、定期的に料理
・食文化研修を実施。

若者の定住支援 婚活イベントから青年農業者とリュウキンカの郷 スタッフ結婚!!



人吉球磨の地域づくり (ひとくまネット)
による手作りの古民家ウエディング

リュウキンカの郷での学び ③

リュウキンカの郷にて

リュウキンカの郷 ムラたびカレッジ (九州7県の農泊お母さん達大集合)



リュウキンカの郷での学び ④

次世代を担う子供達の食育の学びの場

リュウキンカの郷での学び ⑤



野菜ソムリエ上級プロをお招きして
子供食育講座開講



食の多様性インバウンド向け料理教室開催



ヴィーガン、ベジタリアン、ムスリム向けの料理教室を開催



リュウキンカの郷での学び ⑥

グローバルな地域づくり ヴィーガン対応でのおもてなし



リュウキンカの郷での学び ⑦

インバウンド受け入れ



人吉駅にて受け入れ農泊のお父
さんお母さんとの涙の見送り

マレーシア

インバウンド受け入れ



農泊先での交流

インスタ映えするガーデンは
大好評!!

マレーシア



インバウンド受け入れ



農泊先のお母さん達と一緒に太
巻き調理体験



この日は、マレーシアでは春節と
のことでおもてなしを受けました



マレーシア

リュウキンカの郷は、

球磨郡あさぎり町の古民家活用による

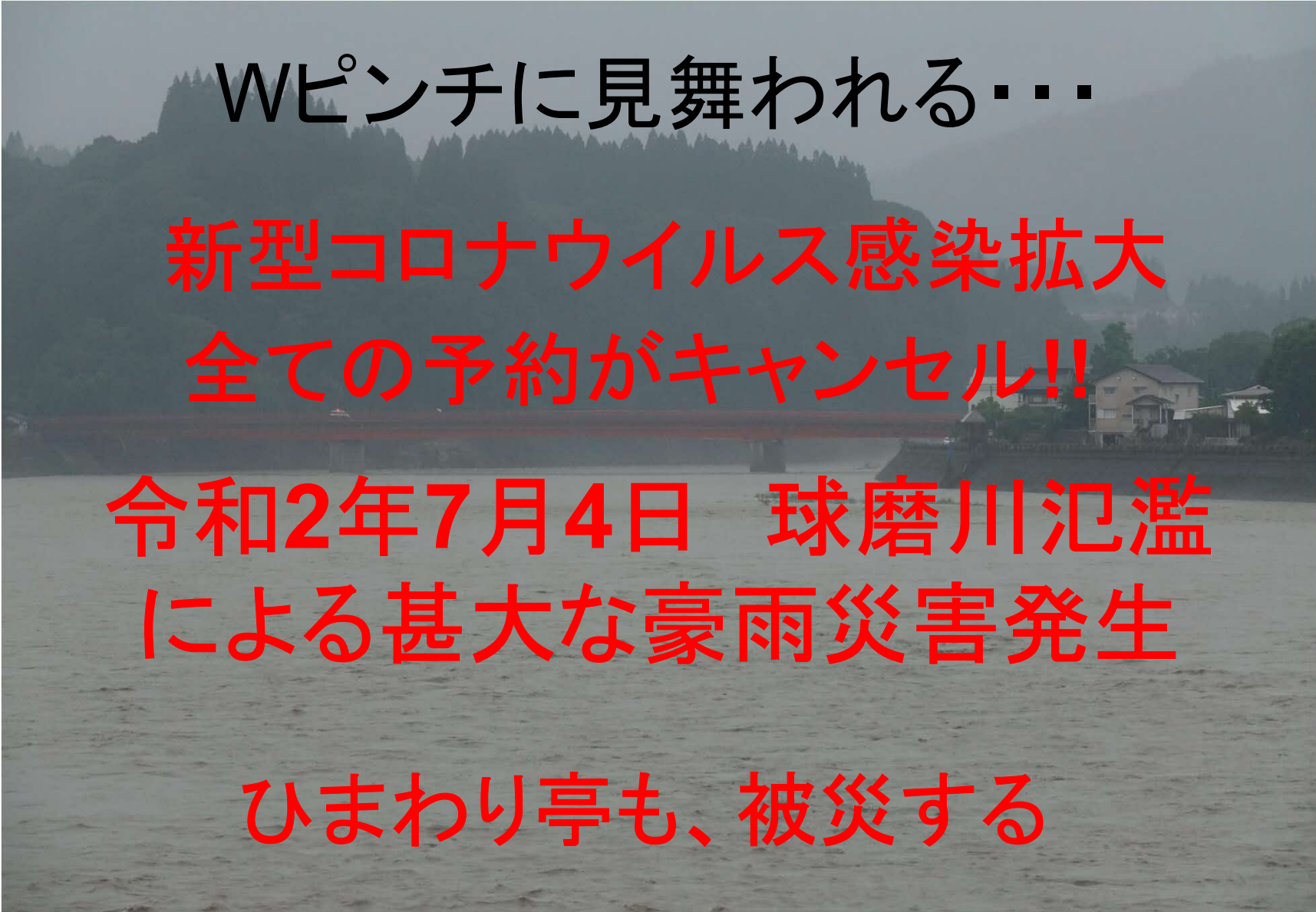
グリーンツーリズムや農水省の政

策でもある**農泊推進事業**によって

農山漁村の活性化を図ることを目的とした
拠点である。

第3章

令和2年7月豪雨災害から 復興への歩み (災害直後からのボランティア活動)



Wピンチに見舞われる・・・

新型コロナウイルス感染拡大
全ての予約がキャンセル!!

令和2年7月4日 球磨川氾濫
による甚大な豪雨災害発生

ひまわり亭も、被災する



人吉市中心市街地災害直後の様子



国宝青井阿蘇神社の蓮池と御祓橋の被災状況



国宝青井阿蘇神社本殿までもが被災



被災後に途方に暮れる



集落まるごと全壊 中神町大柿地区



ひまわり亭の被災直後の様子

熊本県南部豪雨

ひまわり亭災害支援ネットワーク開設

豪雨災害直後より、被災者でありながら、支援者でもある両面を持った民間による民間の為のボランティア活動がスタート。被災後4日目～

ひまわり亭役割

- ①キッチンカーでの炊き出し(主に在宅避難の方に)
- ②全国からの支援物資の受け入れと配布
- ③ボランティアの皆さんの情報交換の場

リュウキンカの郷役割

- ①ボランティアの皆さんの宿泊所
- ②各ボランティア同士の情報交換の場



被災直後からの炊き出し支援

被災直後から5ヶ月間、連続での延べ15,000食提供



延べ2,500人を超えるボランティアの皆様へ感謝





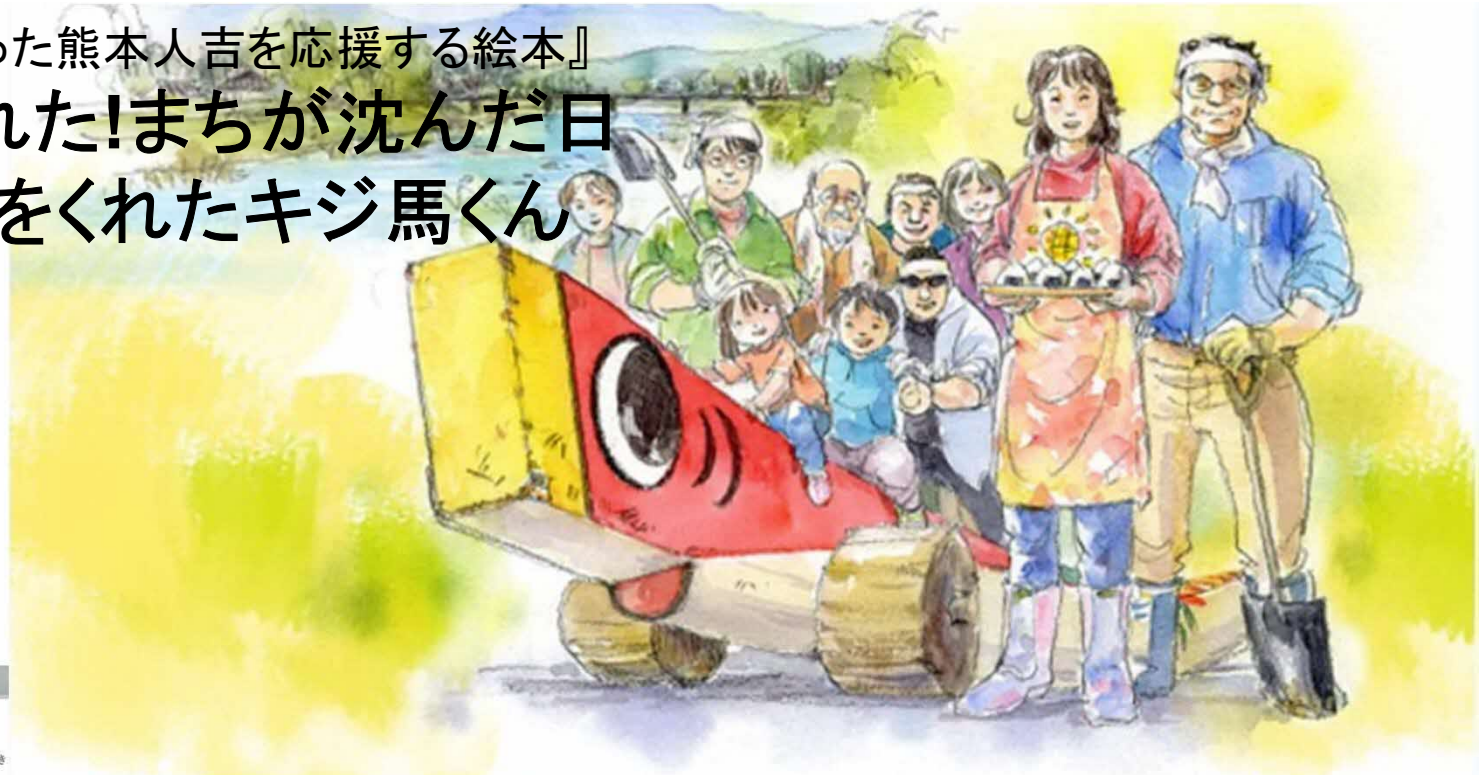
故郷の郷土玩具『きじ馬(重さ800kg、長さ4.5m)』が
約60km先の八代海まで豪雨によって流された。



数日後、発見され無事戻ってきた『ド根性・きじ馬』は
復興のシンボルとなった。



『豪雨被害に遭った熊本人吉を応援する絵本』
川があふれた!まちが沈んだ日
生きる力をくれたキジ馬くん

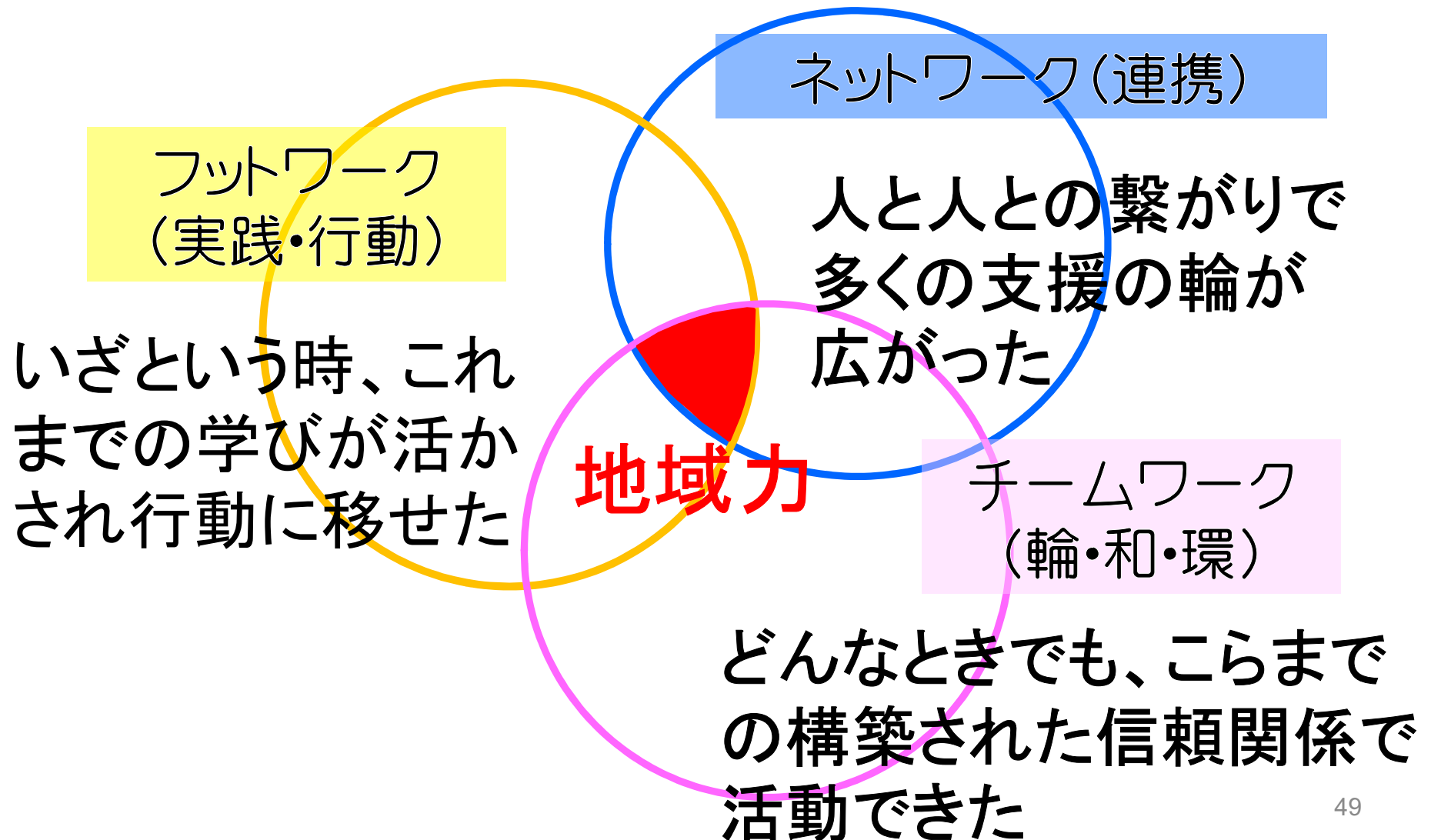


2021年7月4日刊行

ひまわり亭に飾られたキジ馬くんが
川の氾濫で流されてから戻ってくる
までの奇跡を描いています!

私がこれまでの地域づくりで大切にしてきた

ピンチをチャンスにする3つのワーク



第4章

おわりに

新・ひまわり亭のこれから・・・

食で繋げる、ひと・まち・くらし。

『食』の魅力を発進する交流施設として再スタート

取り組み① オーダーメイド研修

食・農・命・地域づくりについて学びたい団体向けの研修。

今後は、
・オンライン料理教室開催
・郷土料理の伝承



料理教室専用

食で繋げる、ひと・まち・くらし。

『食』の魅力を発進する交流施設として再スタート

取り組み② イベント・セミナー事業

食の多様性に対応するセミナーやイベント開催



会議・セミナー等での
会場貸し出し

セミナーの様子

食で繋げる、ひと・まち・くらし。

『食』の魅力を発進する交流施設として再スタート

取り組み③ 農泊事業の推進

農泊推進による『食』をコンテンツとした宿泊施設



1グループ 9名まで
対応可能

宿泊施設様子

食で繋げる、ひと・まち・くらし。

『食』の魅力を発進する交流施設として再スタート

取り組み④ 農村レストラン

地産地消・安心安全をモットーに郷土料理を提供



要予約制

食で繋げる、ひと・まち・くらし。

『食』の魅力を発進する交流施設として再スタート

取り組み⑤ キッチンカー活用による 災害支援ボランティアと地域づくり活動



仮設住宅の皆さんと
復興交流会

最後に

持続可能な農山漁村の実現に向けて 7つの“K”

6



Sustainable 持続可能な

Development 開発

Goals 目標